



サムライフェス in 南相馬 開催

地元高校生らが企画 武者姿で合戦を体験

5月5日(火)「雲雀ヶ原祭場地」において相馬地方の伝統行事「相馬野馬追」にちなんで参加型イベント「第1回サムライフェス」が「いっしょに南相馬」が開催され、参加者が武者になりきって白熱した「合戦」が繰り広げられました。

震災と原発事故などで活力を失っている地域を盛り上げようと、地元の高校生を中心に企画され、11月に開催されるイベントのPRを目的にしたイベントとして、合戦体験や甲冑(かっちゅう)の着用体験、甲冑をまとつての乗馬体験等々、盛り沢山の企画となりました。

当プロジェクトを日頃から応援してくれている皆様から集結し「いちばん星家」として合戦に参加しました。

また、ボランティアの皆さんには、きゅうりやトマトなどの野菜や合戦めしの販売、そして、トリニティ・オソンのアルパカ2頭もふれあい体験に参加しました。ご協力していただいた皆様、ありがとうございました。

 旬・直・便り
 いっしょに南相馬


2015年6月号

2015.6.26 発行

第16号

発行：一般社団法人
いちばん星南相馬プロジェクト
 復興支援イベント
 のまおい夢気球プロジェクトに参加


5月23日(土)南相馬市復興支援熱気球イベント「第4回のもまおい夢気球プロジェクト」が雲雀ヶ原祭場地で開催されました。当プロジェクトでも、昨年に引き続き、気球プロジェクト実行委員会の「高美屋精肉店 さん」のご縁から、花苗や新鮮野菜、飲み物などの出店やアルパカとのふれあい体験で、イベントを盛り上げました。

このイベントは相馬野馬追の会場である雲雀ヶ原祭場で「こどもたちに笑顔と夢を」とをテーマとし熱気球の体験乗車、アート・音楽等を通して南相馬のみなさんに笑顔を届けるプロジェクトとして開催されたものです。

メインイベントである熱気球の体験乗車では、バスケットに乗り込んだみなさんが地上約30メートルから市街地などの眺め、また、熱気球の仕組みを解説する教室なども開かれ、参加者が楽しい一日を過ごしました。

 南そうま復興植樹会に参加
 ハマナスなど約900本を植樹


5月24日(日)東日本大震災で被災した土地を憩いの場として生まれ変わらせる「南そうま福幸植樹会」が原町区の東北電気保安協会メガソーラー施設の隣りで開催されました。当プロジェクトのスタッフも参加し、相馬農高生や地域住民のみなさんとハマナスなど約900本を植樹しました。

相馬農高、NPO法人はらまち交流サポートセンター、市ふるさと帰郷支援センター、はらまち掃除に学ぶ会、茨城掃除に学ぶ会などをつくる実行委員会の主催で、約260人が参加、ハマナスやアキガミ、ユズなどの苗木を丁寧に植樹しました。今回植樹した約2千平方メートルに加え、隣接した約2千平方メートルにも植樹する予定で、ハマナスの実実は相馬農高生がジャムなどに加工し、地元の特産品にする計画です。当プロジェクトでは、今後、このよびな地域の取り組みに積極的に参加していきます！

